



# 笹小だより

No. 9

令和2年 1月 7日  
横浜市立笹野台小学校

## 「新しい年を迎えて」

校長 飯田 雅人

明けましておめでとうございます。令和2年が始まりました。令和という元号になって初めての年越しでした。「令和」という元号には、「世の中を平和にさせる、という穏やかな印象にあふれ、世界が調和され、平和が永遠に達成される」というメッセージが込められているとのこと。この込められたメッセージのように、今年もどうか平和な一年でありますようにと願うばかりです。



さて、今年の子年。子年は十二支の中でも一番最初の年です。十二支を植物の一生に例えると、成長に向かって種子が膨らみ始める時期であり、未来への大きな可能性を感じさせます。東京で2回目のオリンピックが開催される今年、日本にとっても大きな節目と言えるでしょう。そんな節目の年に、私たちの笹野台小学校は、創立50周年を迎えます。

「大きいことを考え、小さいことを大切に。」これは、松下幸之助氏の言葉です。時代の大きな流れや節目を感じて目標を立てるとともに、日々の積み重ねや小さな事象を大切に。子どもたちの未来に向き合うという教育の営みにおいても大切にしたいメッセージです。夢や目標を実現するために、一日わずかでも努力を積み重ねることは、大切なことです。有名な「1.01の法則（1.01の365乗は37.78）」に例えれば、1.00をもとにして考えた時、1パーセントであっても努力を続ければ、1年の後にもとの37倍以上になっているというものです。

これは、子どもの成長にもつながることだと思います。自分は伸びると信じて、一日わずかでもコツコツと努力を積み重ねれば、やがては確かな成長や効果につながっていきます。ほんの少しの努力によって、1年でこれだけ違うのですから、日々の積み重ねは、まさに「宝」であるといえるでしょう。私たち周りの大人は、子どもたちが自分の夢や目標を意識したり、そこに近づくための日々の積み重ねを大切にしたりする姿に対して、温かく、そして時には厳しくかわりながら、子どもたちの成長を支えていきたいものです。

さて、私たち教職員も子どもたちの笑顔を励みとして、創立50周年に向けて、少しずつ歩んでいきたいと思えます。昨年同様、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、引き続き本校の学校教育活動へのご理解とご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。